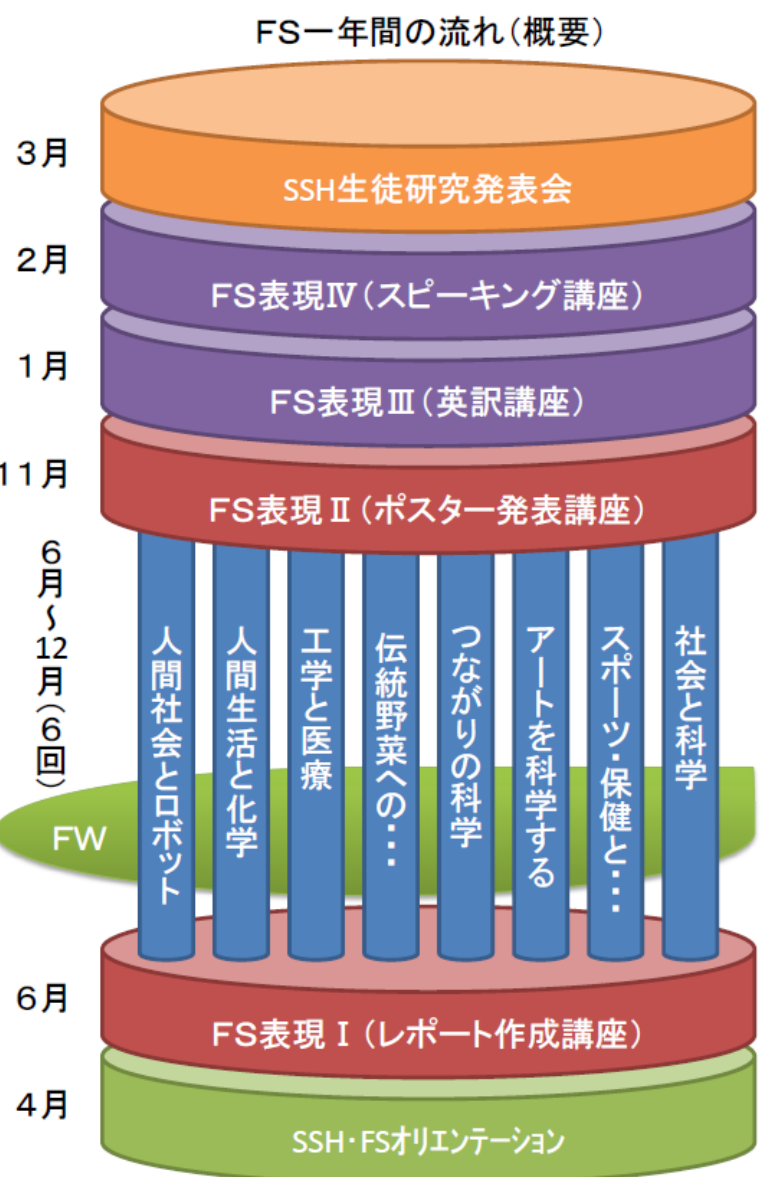


米沢興讓館高校SSH通信

スーパーサイエンスハイスクール

本校の1年生が取り組む異分野融合サイエンス(FS)では、8つのコースの中から、生徒が興味・関心のあるものを選択し、1年を通して学んでいく。今回は第1回の授業とFS表現Ⅰについて紹介する。



アイデアから生まれたロボット
(1年生男子)

私はFSの「人間社会とロボット」コースで山形大学工学部へ行き、色々な研究室を見学してきました。そこには精巧に作られたアイデア満載のロボットがありました。農家の身体への負担を軽減してくれるさくらんぼ自動収穫機や海洋生物の生態を調査できるロボット、全方向に回ることが出来る歯車など、興味をそそられるようなものばかりでした。中には、険しい道を歩行でき、用途によって



異分野融合サイエンス(FS) コース別講義・研修



形を変えられるクモ型ロボットのような、我々が一度は耳にした事のあるロボットもありました。

自分たちでアイデアを練り、実際に作る。それは簡単なようでとても難しいことだと思えます。そんなことを山形大学がやっていると聞くと、我々はとても質の高い施設で質の高い研究を見学させて頂いているのだなと改めて感じさせられます。いくつか私も人々の役に立つような機械を作りたと思います。



講義の後半では、自分が実際に書いたレポートを添削していただきました。その中で、私のレポートは読まれました。今まではあまり気にしなかった部分でたくさん無駄を作っていたと知り、二回目のレポート作成では、一回目より文を短く、詳しく書くことが出来ました。

これからは、個人のレポートやポスターを書く機会が多くなります。今回の貴重な経験を活かし、さらに他の人に伝わりやすいようなレポートを作りたいと思いました。

FS表現Ⅰ

FS表現Ⅰを通して学んだこと
(1年生女子)

六月七日(水)FS表現Ⅰがありました。講義では、山形大学の山本陽史先生より、レポートの書き方について教えていただきました。私はそれまでレポートをほとんど書いたことがありませんでした。しかし、山本先生の話を聞いて、読点を少なくすることや5W1Hを意識して書くことなど、今後のFSの活動などで活かせるレポート作成の技術について学ぶことができました。

078

山形県立米沢興讓館高等学校SSH事務局

URL <http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/> Email yonekojo@pref-yamagata.ed.jp
〒992-1443 山形県米沢市大字笹野1101番地 Tel 0238-38-4741 (代表)

